

アオダイショウ

成長すると2mほどにもなり、日本本土では最も大きくなるヘビです。体色は、褐色がかったオリーブ色で青みがあります。名前の由来は、「青いへびの大将」から、「青大将」となったとも言われています。

本種には、毒はありません。

幼蛇（ようだ）は、灰色でまだら模様があり、マムシに似ています。

山地から農地、平野部の人家周辺の広い範囲に生息しています。肉食性で、ネズミや小鳥、鳥の卵、カエルなどを食べます。

5月～6月に交尾し、7月～8月になると朽木（くちき）や大きな石の下に、10個前後の卵を産みます。

富士市での現状

山地や公園などの緑が近くにあるところで確認されました。



アオダイショウを確認したメッシュ

